

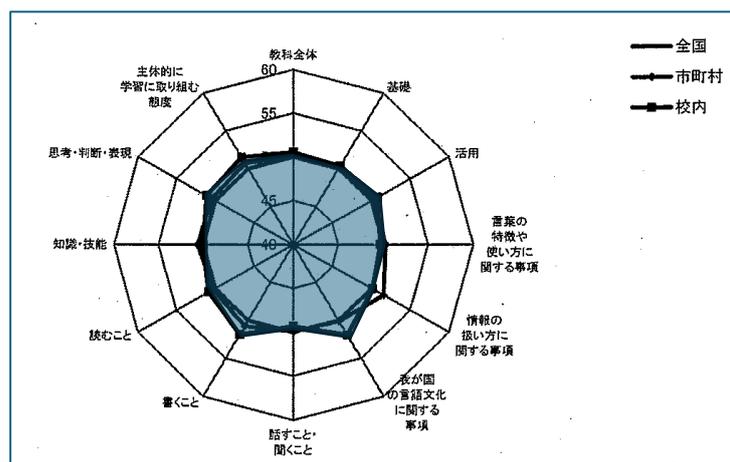
## 令和6年度摂津市学力定着度調査の結果から

### 1. 学校全体の結果概要

学年・教科での差はありますが、全教科（国語・算数・理科）が全国平均と大きく変わることなく、おおむね良好な状況です。

### 2. 4年生の結果分析

#### 《国語》



#### 【成果】

- ・「主体的に学習に取り組む態度」の結果が、全国の平均より高い結果になりました。
- ・「書くこと」において、全国の平均値より7.3ポイント上回っています。特に、条件付き作文では全ての条件において高い水準で平均を上回りました。

#### 【成果の要因】

- ・国語に限らず、授業の中で「自分で考えて書く」活動を行いました。その成果が出ていると思われます。

#### 【課題】

- ・調べて分かったことを発表・発信する力が弱いことが伺えます。
- ・説明文において、要約する力に課題が見られました。

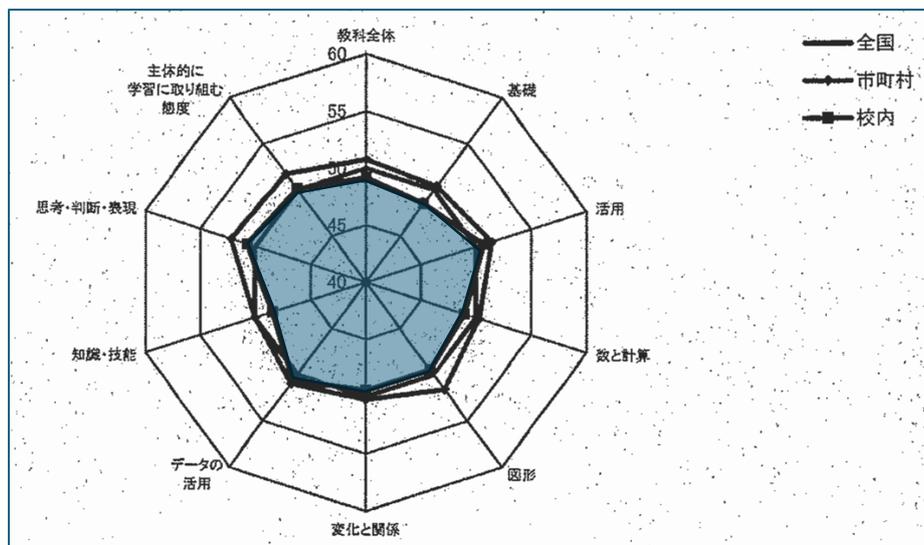
#### 【課題の要因】

- ・複数の情報をつなげて整理する活動を積極的に行いましたが、個人差が大きく、それを補うことが十分にできませんでした。
- ・要約するための学習・演習が十分ではありませんでした。

#### 【今後の取組み】

- ・上記の課題を受けて、3学期に要約の練習を取り入れました。今後も継続して指導していきます。

## 《算数》



### 【成果】

- ・「小数」の学習はよく理解できています。
- ・「グラフを読み取る力」がついています。

### 【成果の要因】

- ・小数のしくみについて、子どもたちの言葉で伝え合い、理解を深める活動を行った成果が出ています。

### 【課題】

- ・「計算のきまり」における分配法則の理解・処理共に課題が残りました。
- ・位の大きな数や概数の表し方について、理解が十分ではありません。

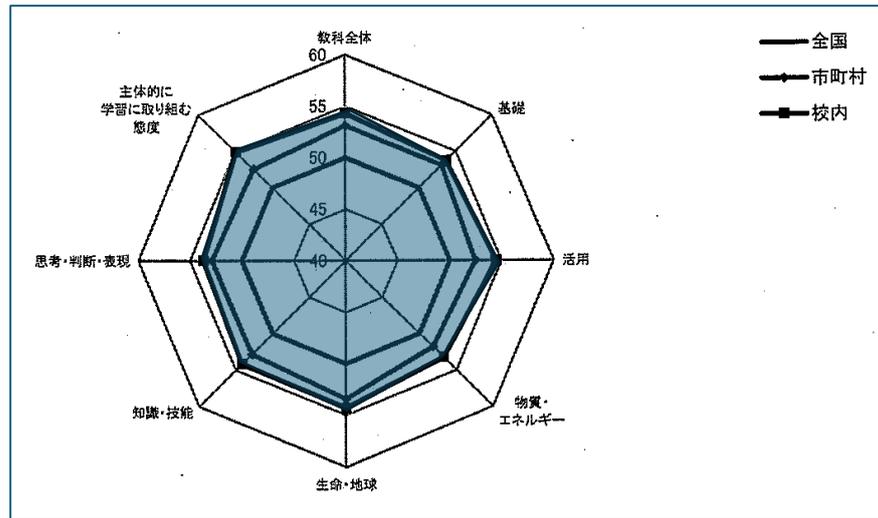
### 【課題の要因】

- ・4年生で学習した計算のきまりの定着がまだ不十分です。

### 【今後の取組み】

- ・反復練習、特に応用問題への取組みを継続していきます。

## 《理科》



### 【成果】

- ・どの領域及び観点においても、全国平均を上回っており、概ね良好です。

### 【成果の要因】

- ・どの単元でも、問題に対し予想をして、それを全体で共有することで様々な考えに触れる機会を設けました。
- ・結果から児童が“考察”し、“まとめ”、“ふりかえる”というような、学習の流れが身についています。

### 【課題】

- ・グラフを読み取り、その情報を活用してその日の天気を分析することが不十分です。
- ・月の観察記録から、その情報を活用し月の動きを予想することに課題があります。

### 【課題の要因】

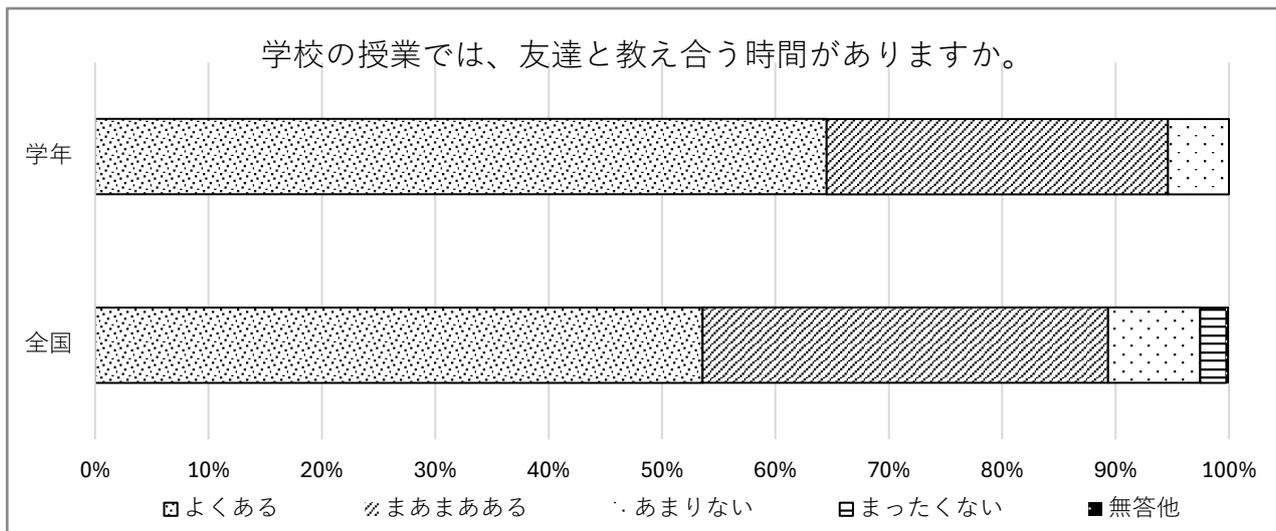
- ・自ら天気を予測したり、データや記録を活用したりする実体験を積み重ねることが不十分でした。

### 【今後の取組み】

- ・教科書に沿った学習だけではなく、日常の疑問や困り感などとリンクさせるような問題提起の仕方や仕掛けを工夫し、理科での学習した内容を日常生活でいかせるようなしかけ・働きかけを行っていきます。
- ・学習をふりかえる際に、日常生活で活かすことをイメージする活動を大切にしていきます。

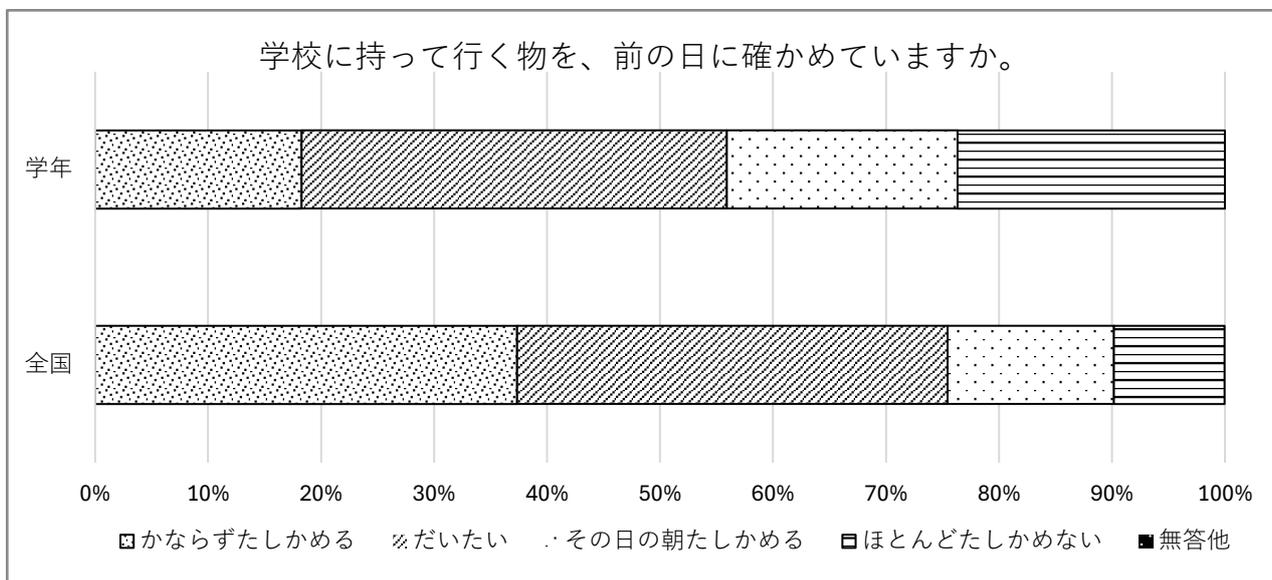
《i-check》

\* 肯定的回答が多かった項目



お互いに授業のなかで「教え合っている」と感じている児童の割合が高くなりました。学年全体で児童主体の授業形態を重視し、取り組んできたからではないかと考えます。

\* 改善が必要であると思われる項目



普段の様子からも、準備物がなかなか揃わない状況があります。学習の準備を自分事として捉え、自分で責任をもってやりきる経験を積むことが自立につながると考えます。家庭と連携しながら取組みを進めてまいります。